

1 業界・企業・職種とは

自分を知ること（自己分析）と同時に大事なことが、社会を知ることです。社会には様々な業界・企業・職種があり、同じ業界でも企業によって扱う商品やサービスが異なりますし、同じ企業内においても職種によって仕事内容や働き方が異なります。イメージに惑わされないようにしっかり研究しましょう。

業界とは

業界とは、同じ業種（事業内容の種類）に携わる企業の集まりを指します。製造業界、金融業界、サービス業界などその分類は様々です。また同じ業界に属していても、その仕事内容や取り扱う商品が同じとは限りません。興味ある業界をいくつかリストアップし、そこに属する企業や他の業界との関連について調べてみましょう。

職種とは

職種とは、企業内で日常的に行う仕事内容を分類したものです。具体的には企画、営業、販売、総務、広報、技術、開発など様々な職種が存在します。しかし、同じ職種でも業界や企業によって仕事内容が異なる場合があります。志望する企業では、その職種が実際にどんな仕事をしているのかをしっかりと把握する必要があります。

働き方（コース区分）の違い

企業によっては「総合職」「一般職」「エリア限定職」「専門職」などのコース別採用を行っている場合があります。その場合、エントリー段階で選択を求められるので、自分の希望する働き方をあらかじめ決めておく必要があります。コースによって、働き方だけではなく、仕事内容や給与などの待遇面にも違いがあります。

(例)

総合職	将来の幹部候補として仕事の裁量が広く、社内のあらゆる業務に就く可能性があり、企業によっては転居を伴う転勤もあります。
エリア(地域)限定職	「地域限定職」「エリア総合職」「特定総合職」などの呼称がありますが、勤務地を一定エリアに限定した区分です。原則として転勤を伴う異動がなく、自宅から通える範囲で勤務できますが、仕事は総合職並みと考えればよいでしょう。
一般職	仕事の範囲が限定的で、決められた担当業務の中で経験を積みます。一般事務などが挙げられます。
専門職	専門性を必要とする職を指します。「法務」「会計」などのように、あらかじめ専門知識やスキルを持った人を職種を限定して採用するもので、配属先が限定されています。

2 業界・企業研究とは

世の中にはどのような業界があるのか知るところから始め、興味や関心のある業界について理解を深め、次にその業界にどんな企業があるのか調べていきましょう。企業規模や事業内容などの基本データだけでなく、社風や経営ビジョン、同業他社との違いなどの情報も集めましょう。

同じ業界の中でも、企業によって得意な分野や仕事の進め方などはそれぞれ違います。個々の企業について違いを調べ、比較することによって、自分にあった企業を見つけることができます。

企業を選ぶうえで重視するポイントは、人によって異なるものです。「企業研究から得られた情報」と、自己分析を通して自覚した「自分の適性」や「キャリアプラン」をすり合わせながら、自分に合った企業を探していきましょう。

業界・企業研究に活用できるもの

- ①会社説明会
- ②企業のウェブサイト、就職情報ナビサイト
- ③新聞、雑誌、書籍*
- ④会社訪問、OB・OG 訪問

*学内のネットワークで利用できるデータベースでは、過去の新聞・雑誌等の情報収集が可能です。(利用方法は、P.49 参照)

3 業界研究ワークシート

興味や関心を持てる業界について理解を深め、自分に合った業界を探しましょう。

業界名

業界の概要・規模	
業界の現状	業界の課題
業界の将来性	業界内にある企業

4 企業研究ワークシート

志望動機を作成しやすくするため、企業について整理しましょう。

企業名

事業内容	志望動機
企業の理念・ビジョン	同業他社との比較
強み・特徴	この企業でやりたい仕事、実現したいビジョン